

町田市バイオエネルギーセンター運営協議会（第10回）

議事要録

- 日時 2026年2月5日（木）10時15分～11時20分
- 場所 町田市バイオエネルギーセンター 管理棟3階会議室
- 出席 委員：高橋会長（もみじ台）、大谷委員（図師）、佐藤委員（桜美林台）、
藤田委員（下小山田）、森委員（上小山田）、桐沢委員（忠生四丁目）、
守屋委員（根岸）、甲野藤委員（清住平）、
酒井委員（矢部町）、佐藤委員（常盤）、林委員（馬駆）
専門委員：荒井委員、佐々木委員
- 欠席 3名（代理出席 なし）
- 事務局 : 岩岡環境資源部長、平本循環型施設担当部長
循環型施設管理課 : 平川課長、黛係長、黒須担当係長、石川主任、
小松主任、阿曾主事、新美係長、狩野担当係長
ごみ収集課 : 山岡課長
環境政策課 : 岸担当課長
運営事業者 : 町田ハイトラスト株式会社
コンサルタント : 株式会社日建設計
- 傍聴者 0名
- 配布資料
次第
町田市バイオエネルギーセンターの運転状況について……………【資料1】
リチウムイオン電池検知システム実証実験報告……………【資料2】
消防訓練の報告……………【資料3】
資源ごみの暫定処理……………【資料4】
煙突のぼりイベントの報告……………【資料5】

1 開 会

○開会挨拶

岩岡環境資源部長より、開会のあいさつを行った。

○専門委員の紹介

荒井喜久雄委員、佐々木裕子委員を紹介した。

2 議 題

(1) 町田市バイオエネルギーセンターの運転状況について (2025年7月～12月)

事務局より、資料1を用い、町田市バイオエネルギーセンター運営協議会の所掌事項である排ガスの測定結果など、運転状況について報告した。

(以下、主な質疑応答)

事務局 (黒須担当係長) バイオガス発電機の排ガスについては、協定に基づき運転開始後、1年間測定して問題ないことを確認させていただいていました。運営協議会からの要望がありまして、追加で今年1年間測定して問題ないことを確認しました。以上の測定をもちまして、バイオガス発電機の排ガスは問題ないことを確認したことを報告いたします。

高橋会長 騒音について苦情等の話があれば藤田委員からご報告ください。

藤田委員 住民立会いのもと最新の精密騒音計により測定を行ったが、問題なかったとの話を聞いています。

守屋委員 p.1では、10月に1、2号炉共通整備工事を実施したとのことで、焼却炉、バイオとも処理量が減少していますが、市民生活に影響がなかったかなど状況を説明してください。

事務局 (島尻所長) 年間処理計画において、10月の定期整備に向けて処理量をあらかじめ増やし、ごみピット貯留量を減少させており、共通整備工事の停止期間はごみピットにごみを貯留していました。市民生活に影響ないよう計画しています。

3 町田市からのおしらせ・事務局からの連絡事項

(1) リチウムイオン電池検知システム実証実験報告

事務局より、資料2を用い、2024年度の実証実験に続き、2025年度に改良した実験機で行

った実証実験の結果について説明した。

(以下、主な質疑応答)

- 高橋会長 検出装置で検知して取り出したもの（別紙2の表右列写真）の中にリチウムイオン電池は含まれていたのでしょうか。
- 事務局（黒須担当係長） 自動ロボット掃除機、モバイルバッテリー、電子たばこ、電子香炉などにリチウムイオン電池が内蔵されています。
- 大谷委員 それらは燃やせないごみの収集袋に混入していたのでしょうか。
- 事務局（黒須担当係長） すべて燃やせないごみに混入していました。
- 甲野藤委員 装置で検知したことにより、どの程度の時間、処理コンベヤラインが停止していたのでしょうか。
- 事務局（黒須担当係長） 実証実験として処理工程とは別に実験用のコンベヤを設置しており、処理施設にはまだ導入していません。
- 守屋委員 高い精度で検知しているように思いますが、火災の原因になるものが検知されずに通過したということはありませんか。
- 事務局（黒須担当係長） 9割程度検知できていることが確認されたのですが、新しい製品で形状がAIシステムで学習されていないものは検知されにくい結果でした。今後、画像認識システムが向上すれば検知精度も向上すると考えています。
- 森委員 手選別されたものの中にスプレー缶なども含まれていますが、リチウムイオン電池ではなくても、危険なものとして選別されたということですか。
- 事務局（黒須担当係長） 手選別では小さな乾電池などを選別するのは難しく、スプレー缶や液晶モニターなど大きさ・形状が分かりやすいものは選別されているということを参考にお示ししています。
- 森委員 X線検知装置でも乾電池が除去されていますが、リチウムイオン電池を内蔵した携帯電話や小型扇風機その他、乾電池型のリチウムイオン電池以外のマンガン乾電池も除去されているのですか。
- 事務局（黒須担当係長） リチウムイオン電池以外の乾電池も選別しました。
- 荒井委員 X線検知装置を用いた実証実験は国内初の非常に先進的な取り組みだと思います。全国的にも同様の試みが進められており、手選別では除去するものも限界があるので改善の余地があるので有意義な実験だと思います。

荒井委員 リチウムイオン電池は排出時の分別が重要ですので根本的な対策ではありませんが、優れた着目点であると思います。今後、選別精度の向上、検知したものの除去方法についても研究を進めていただければと思います。

事務局（平川課長） バイオエネルギーセンターではリチウムイオン電池による火災が3回発生していますが、町田市としてはリチウムイオン電池対策は4つあると考えています。

- ①排出段階で適正に選別して火災リスクを低減する。
- ②収集車に積み込む際に破袋して電池を除去する。
- ③施設内で発火・発煙しても散水などにより被害を最小限に抑える。
- ④X線検知装置のような新技術の開発・導入に取り組む。

町田市としてはこのような対策を検討して進め、地域の皆様に心配をおかけしないよう努めていきたいと考えています。

大谷委員 リチウムイオン電池の耐用年数・使用期限をどのくらいですか。

事務局（平川課長） 製品の寿命は分かりませんが、使い終わった製品の廃棄が増えています。以前は多かったニッケル水素電池やニッケル・カドミウム電池が減少して、リチウムイオン電池がさらに増えると考えています。例えば、モバイルバッテリーでは充電回数（寿命）の目安が設定されており、膨張している場合は安全上のリスクが高いと言われています。

佐藤委員 リチウムイオン電池だけでなく、スプレー缶などがかなり混入しているのに驚きました。排出時に注意しないといけないと再認識しました。

甲野藤委員 東京都内でも市町村によって分別区分が異なるので、引越しすると分かりにくいという話を聞きます。分別基準を統一するという話にはならないのですか。

事務局（平川課長） リチウムイオン電池も自治体で分別区分が異なるので困るという課題は認識しており、統一するのが望ましいと思います。しかしながら、それぞれの自治体で処理施設の設備や処理工程が異なるので、できる対策も限られており、各自治体で工夫しているというのが現状かと思っています。

(2) リチウムイオン電池の捨て方（出し方）について

事務局より、チラシ「モバイルバッテリー充電式小型家電は有害ごみ（電池）です」の配布について説明した。

（以下、主な質疑応答）

高橋会長 火災が発生すると被害は甚大なので、市報を含めてPRしていただければと思います。

- 甲野藤委員 モバイルバッテリーは有害ごみ（電池）のかごに入れるとのことですが、リサイクル広場などどこかで回収してくれないのでしょうか。
- 事務局（平川課長） モバイルバッテリーは販売店で引き取ってくれます。通信販売で購入した外国製品は収集していない自治体もあるのですが、町田市では月に1回、有害ごみ（電池）の日に収集しています。
- 甲野藤委員 陶磁器、小型家電やビデオテープなどと同様、リサイクル広場には持ち込めないのですか。
- 事務局（岸担当課長） 境川クリーンセンター（リサイクル広場まちだ）ではリチウムイオン電池単体は引き取ってないのですが、リチウムイオン電池を使用した小型家電は引き取りしています。
リサイクル広場では行政回収していないごみを引き取るということになっていきますので、リチウムイオン電池は月1回の行政回収（有害ごみ（電池））に出していただければと思います。

(3) 消防訓練の報告

事務局より、資料3を用い、消防訓練（12月18日）の実施結果について報告した。

（質疑応答 なし）

藤田委員 町内会の防災訓練の参考になるかもしれないので、市民が消防訓練を見学することは可能ですか。

事務局（平川課長） 主に職員を対象とした訓練ですので公開していません。年2回実施していますが各回で内容も異なり、多数の方が見学するのも難しいところがあります。
ここで対応をお答えできませんが、ご要望があることは受け止めたいと思います。

(4) 資源ごみの暫定処理について

事務局より、資料4を用い、ビン・カン等、資源ごみの暫定処理について説明した。

（以下、主な質疑応答）

森委員 計画している資源物処理施設（相原、上小山田）の施設規模は4月以降の実績収集量を踏まえて、過不足のない適正な処理能力とするようにしてください。

事務局（平本担当部長） 実際の収集量を設計に反映させて過大な施設にならないように努めてまいります。

高橋会長 容器包装プラスチックの収集日は何曜日を予定しているのでしょうか。

事務局（山岡課長） 剪定枝と同じ曜日（毎週）を予定しています。

(5) 煙突のぼりイベントについて（10月10、11日）

事務局より、資料5を用い、煙突のぼりイベント報告について説明した。

（以下、主な質疑応答）

高橋会長 記念品のリチウムイオン電池の出し方啓発マグネットシートを広く配布してはどうでしょうか。

事務局 昨年4月にすべての小中学校の生徒に配布しており、その残りを記念品と
（狩野担当係長） しました。また、容器包装プラスチックの説明会でも配布しており、既に
3万枚配布しました。

(6) その他

事務局（山岡課長）より、電気自動車（3台）の導入に伴い、駐車場の急速充電器の使用時間を8:15～22:00から10:00～22:00に変更することが伝えられた。

次回の第11回運営協議会の開催予定として、2026年8月頃であることを伝えられた。

4 閉 会

平本循環型施設担当部長より、閉会のあいさつを行った。